



第 45 号

2021年
8月発行
慈英病院広報誌

真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します。

当院の訪問リハビリテーションについて

★訪問リハビリテーションとは、専門職が自宅を訪問して、日常生活の環境に合わせたリハビリを行うサービスです★
当院では利用者様の心身機能の維持や回復を図り、可能な限り自立した生活を送ることができるように、病院で勤務している理学療法士や作業療法士・言語聴覚士が利用目的に合わせて、ご自宅へ訪問してリハビリを行っております。

＜訪問リハビリテーションのメリット＞

- ①実際に日常生活を送っている自宅でのリハビリのため、生活に即したリハビリが行えて、すぐに生活に応用が出来ます。
また、住環境の整備も、実際の動作で確認しながら行う事が可能です。
- ②寝たきりなどで動くことが難しい方でも、移動することなくリハビリが受けられます。
- ③家族が同席しやすいため、家族への介助指導や相談もその場で直接行なう事が可能となり、注意点や問題点をすぐに相談できます。

＜訪問リハビリで行なうサービス内容＞

病状の観察

- ①血圧・脈拍・呼吸状態などのバイタルチェック
- ②病状の観察、精神面の健康状態の確認など

身体機能訓練

- ①筋力、関節可動域、バランスなどの機能回復訓練
- ②歩行や階段昇降などの基本的動作の訓練
- ③痛みの評価と疼痛緩和 など

日常生活動作訓練

- ①入浴動作や排泄行為の練習
- ②調理や洗濯など一連の家事動作などの訓練 など

言語訓練

嚥下訓練

- ①失語症に対する言語訓練
- ②嚥下障害がある方に対する嚥下訓練
- ③食事形態や食事をするための道具の検討などといった食事環境の改善
- ④口腔ケアの仕方や食事介助方法の指導 など

その他

- ①福祉用具・住宅環境に関するアドバイス
- ②本人・家族への指導や相談



＜訪問リハビリの対象となる方＞

- ★「要介護 1」以上の認定を受けている方
- ※「要支援 1」「要支援 2」の方は
介護予防訪問リハビリテーションとなります
- ★主治医から「訪問リハビリテーションが必要」と認められている方

令和 3 年度介護報酬改定について

新型コロナウイルス感染症や大規模災害があり、介護事業者にとって厳しい環境が続く中、2021 年（令和 3 年）度の介護報酬改定では、改定率『+0.70%』の軽微なプラス改定となりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが 75 歳以上となる 2025 年に向けて、2040 年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を図る対応が求められており、当院介護事業所でも、科学的介護情報システム「LIFE」の利用開始や通リハでの入浴介助加算Ⅱ算定などに取り組んでおります。

★科学的介護情報システム LIFE とは★

「Long-term care Information system For Evidence（ロングターム ケア インフォメーション システム フォー エビデンス）」を略したものです。国は、これからは医療と同じように介護も科学的に行っていきたいと考えています。「介護に関するデータを集めて、そのデータをもとに介護を行う」この仕組みのことを LIFE といいます。

★入浴介助加算Ⅱ算定のためには★

- a) 利用者の居宅を訪問し、浴室における利用者の動作及び浴室を評価する。
- b) 理学療法士等が医師との連携の下で入浴計画を作成する。
- c) 個浴等の利用者の居宅の状況に近い環境にて入浴介助を行う。などの、対応が必要となっております。



七夕飾り



今年も病棟では七夕の日に七夕飾りを行いました。昨年から続くコロナの影響でなかなか家族に会えなく、寂しい思いをされてる患者様がたくさんおられ、短冊には家族を想う願いがたくさん書かれていました。1日でも早くコロナが終息する事を私達も願います。



通所リハビリテーションセンターです★



今年も七夕飾りをご利用者様と作り、短冊を飾りました。短冊には、ご家族やご自身の健康を願うものや、叶えたい事など様々な願いが飾られました。皆さんの願いが届きます様に・・・



土用の丑の日献立



7月28日は土用の丑の日でしたので、うなぎの蒲焼きを提供しました。

皆様笑顔で喜ばれており、食欲のなかった方もうなぎと聞いて最後まできれいに召し上がっていました。

うなぎには疲労や夏バテ予防に効果のあるビタミンB1や、肌や髪の毛を健康に保つビタミンAが豊富に含まれています。

うなぎを食べて夏バテとコロナ疲れを吹き飛ばしましょう！

管理栄養士 津曲より

外来での新型コロナワクチン接種について



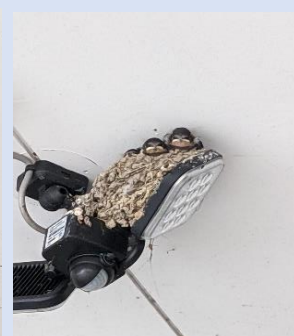
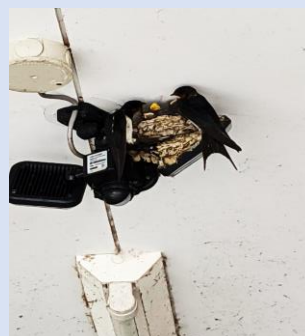
当院では、外来における新型コロナワクチンの接種を受け入れております。接種券が届いている18歳以上の方であれば、どなたでも接種することができます。かかりつけ医がない方や、かかりつけ医での予約ができなかった方など、様々な方が接種に来院されております。

接種の予約はお電話にて承っております。
接種券がお手元に届きましたら、お気軽にお電話ください。
☎0985-23-5000



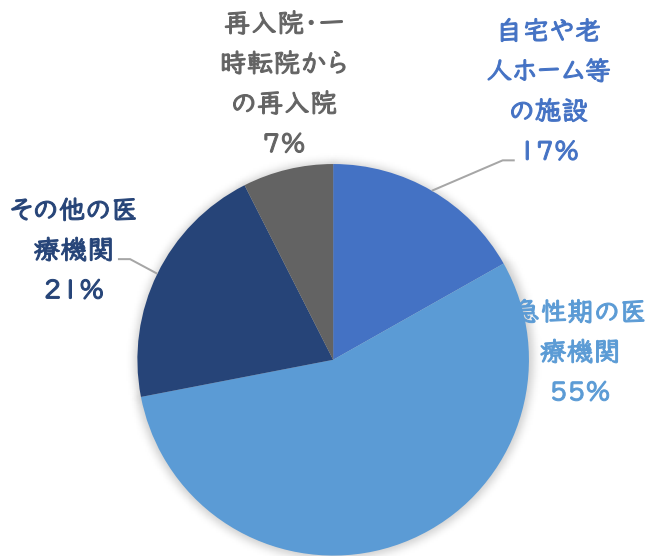
ツバメが巣を作りました。

当院職員駐車場にツバメが巣を作り、可愛いヒナが元気に育ち、巣立っていきました。センサーライトを巣の土台に利用するなど頭の良い親ツバメ夫婦でした。

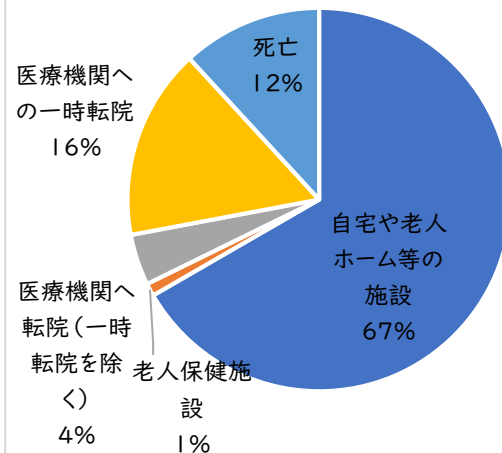


臨床インディケーター 2021 年（令和 3 年）

前方連携の状況（令和 3 年）1～6 月 n = 107

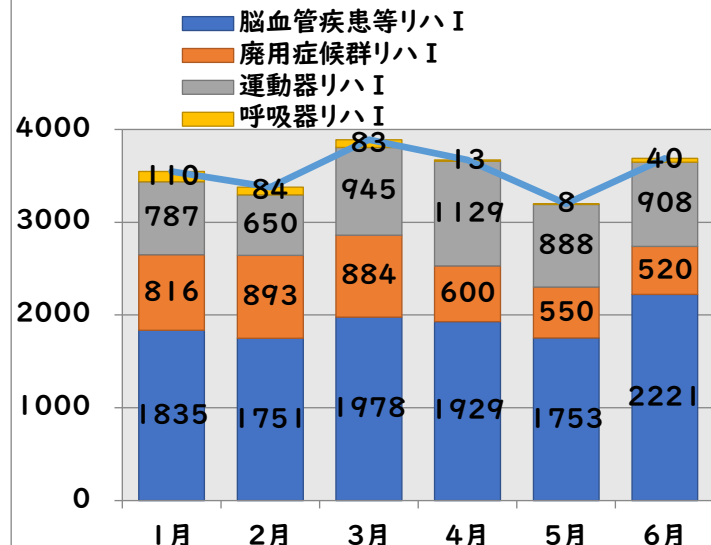
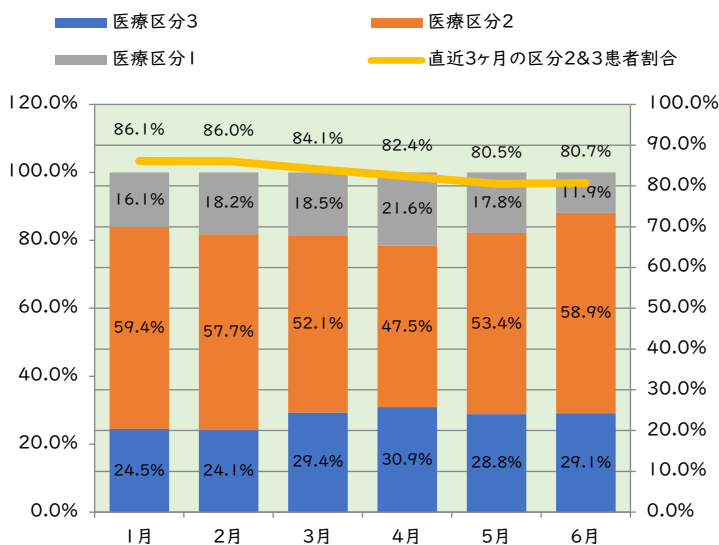


後方連携の状況（令和 3 年）1～6 月 n = 93

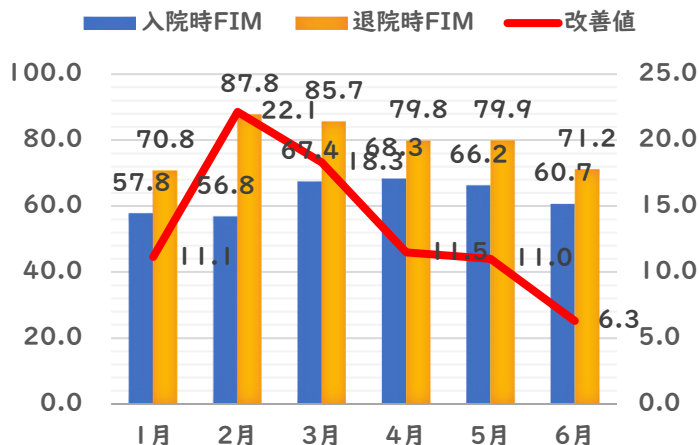


医療区分（＊１）別入院患者の割合（令和 3 年）

疾患別リハビリテーション（＊２）実施単位数（令和 3 年）



軽快退院患者における FIM（＊３）改善値（令和 3 年）



（参考）グラフ内の用語説明

＊１「医療区分」

医療療養病床に入院された患者様の入院基本料において、医療の必要度を３段階で表したものです。

「医療区分１・２・３」と、数が多くなるほど医療が必要となります。

例えば、中心静脈栄養、呼吸器装着、指定難病、24時間の観察が必要な患者様は、医療区分３となります。

＊２「疾患別リハビリテーション」

主となるリハビリの治療内容に応じて医師が判断して行います。１単位は 20 分です。

＊３「FIM」

世界共通の ADL（日常生活動作）評価表です。指標として 110 点以上で介助に必要な時間は 0 分です。点数が低くなるほど、介助に必要な時間は長くなります。最低 18 点、最高 126 点です。